

7～8月の行事等のご案内

皆様に喜んでいただけるイベント・行事を行います。

7月 七夕
短冊作り



七夕 短冊作り

8月 スイカ割
花火イベント



花火イベント



スイカ割り

写真は、昨年度の風景です。

その他誕生日イベントや料理イベント、おやつワゴンなど盛りだくさんです。

ゆうあい祭と秋の遠足について

毎年秋に開催している「ゆうあい祭り」と「秋の遠足」は新型コロナの感染が未だに終息しないため、残念ながら中止を決定しました。ご家族様と一緒に楽しんでいただけるイベントが例年通り執り行えないのは大変残念ではありますが、入居者の皆様の安全を第一に考え、決断しました。なお、「祭り」については、入居者のみの参加で小規模に開催する予定です。コロナ禍により世の中では働き方も変化している様です。当施設もこれを機に、より良いイベントにする努力をしたいと考えております。



苦情窓口案内

施設に対するご意見、ご要望は、相談員までお気軽にご連絡ください。

相談員・・・平野、小方
電話:052-217-8715

4月～6月の苦情件数:0件

また、外部の連絡先として以下の窓口もあります。ご参考にしてください。

- ・愛知県国民健康保険団体
介護サービスに関する相談
電話 052-971-4165
- ・名古屋市
健康福祉局高齢福祉部介護保険課指導係
電話 052-972-2592

職員コラム

ゆうあいの里に入社して4か月目になりました。まだまだ不安なことも多いですが、入居者と会話をしたり、介助することは楽しいです。まずは仕事をしっかりと覚えることを目標に日々の業務に当たります。そのために、先輩職員ともっと自分からコミュニケーションを取っていき、様々なことを学びたいと思っています。そして、いつか自分が先輩になった時、今度は自分が後輩にきちんと教えられるよう、成長していきたいです。私が入社したのが丁度新型コロナウイルスの感染が拡大している時期で、世間的に不況や自粛要請があって大変な中、きちんと仕事を始めることができ安心感がありました。これからも一生懸命頑張っていきたいので、よろしくお願ひします。(H.T)

編集後記

新型コロナウイルスの流行で、私たち一人一人の生活面でも様々な変化がありました。私の一番大きな変化は、電車通勤から自転車通勤になったことです。自転車通勤も4か月目に入り、すっかり慣れてきましたが、この暑い季節に自転車を漕いでいると、冷房の効いた電車が無性に恋しくなることも多々あります。施設の方でも、新型コロナウイルス感染防止のため、2月末から面会禁止措置を取り、6月後半からは制限付きの面会を実施しています。ご家族様が気軽に施設を訪ねられない状況の中、このゆうあい通信で少しでも施設の様子を伝えることができれば幸いです。

ゆうあい通信 2020年7月(第17号)

編集・発行 社会福祉法人 大同福祉会 特別養護老人ホームゆうあいの里大同

〒457-8512 名古屋市南区白水町20番地 TEL052-612-3030(代表) FAX052-612-3076

ゆうあい通信

2020年7月 (第十七号)



【理念】

人の心を大切にし、皆様に安らぎと感動を提供することが、私たちの使命です。

【基本方針】

- ・利用者様の尊厳を守ります。
- ・安全を最優先します。
- ・質の高い介護サービスを提供します。
- ・地域社会に貢献します。

新型コロナウイルス感染防止対策

5月25日に緊急事態宣言が全面解除となりましたが、全国的にはまだ新規感染者が出ており、油断できない状況が続いています。再度の感染拡大を踏まえて、全国老人福祉施設協議会より発せられた「新しい生活様式」に関する留意点に基づき、当施設では6月19日から「感染を起こさない面会」の取り組みを実施しています。高齢者施設では、入居者が感染した場合の重症化リスクが高いため、まだまだ完全に今まで通りというわけにはいきません。面会については、段階的に緩和していくことは検討していますが、現在の段階では面会は月1～2回まで、面会時間は5～10分などの制限をつけさせていただいております。引き続きご家族の皆様には、感染防止の取組にご協力をお願いいたします。

また、5月の終わりに葵第二幼稚園からアマビエのお守りが届きました。アマビエは疫病よけの妖怪とされており、園児さんたちが「ゆうあいの里大同に新型コロナが来ないように」という願いを込めて作ってくれました。施設の玄関に飾ってありますので、面会の時はアマビエにも是非目を向けていただければと思います。面会の制限と同時に、手洗いやマスクの着用も継続していきます。しかし、マスクをしていると、体温が上がりやすくなったり、のどの渇きを感じにくくなり脱水症状を起こしやすくなるので、熱中症のリスクが上がります。そのため、今年は例年以上に熱中症に気を付けなければなりません。対策として、当施設では通気性の良いマスクを手作りし、それを着用しています。但し、通常のサージカルマスクに比べると通気性が良い分感染防御については劣ってしまいますので、一人で作業する場合、話す必要がない場合等限られた場面での着用となります。職員からは「暑さが和らぐ」「息をするのが大分楽になった」等の感想が出ています。



ユーザー評価結果について

当施設では平成20年から参加を続けている名古屋市介護事業者ユーザー評価事業に、2019年度も取り組みました。以下がその結果です。

施設入所

ショートステイ



説明の分かりやすさ	2019	2018	説明の分かりやすさ	2019	2018
契約書や重要事項説明書	4.3	4.2	契約書や重要事項説明書	4.2	4.2
個人情報流出しないこと	4.0	4.2	個人情報流出しないこと	4.2	4.4
介護・看護計画やサービス内容	4.7	4.3	入居中起こりやすいトラブルや事故	4.4	4.2
入居中起こりやすいトラブルや事故	4.5	4.3	苦情受付窓口	4.1	4.2
苦情受付窓口	4.1	3.4			
			接遇		
			職員の言葉遣いや態度、身だしなみ	4.8	4.9
			職員の言葉遣いや態度、身だしなみ	4.6	4.5
			気軽に相談できる雰囲気作り	4.4	4.6
			気軽に相談できる雰囲気作り	4.4	4.5
			サービス		
			不満や苦情に対する素早い対応	4.6	4.5
			不満や苦情に対する素早い対応	4.4	4.1
			ご本人の趣向や希望の生活への反映	4.3	4.5
			本人の趣向や希望の生活への反映	4.2	4.1
			レクリエーションの内容や頻度	4.0	4.1
			機能訓練の実施	4.1	3.9
			食事(献立、味付け、食べやすさ)	4.4	3.8
			レクリエーションへの参加のしやすさ	4.5	4.2
			職員の対応や介護内容	4.3	4.1
			食事(献立、味付け、食べやすさ)	4.4	4.0
			入居者の身だしなみ	4.3	4.3
			入居者のプライバシー保護	4.5	4.2
			感染症予防や衛生面の対応	4.6	4.6
			入居者の身だしなみ	4.3	4.2
			身体拘束を行わないようにする配慮	5.0	4.9
			感染症予防や衛生面の対応	4.6	4.2
			環境整備(設備、居室等)	4.5	4.5
			身体拘束を行わないようにする配慮	4.8	4.8
			入居者や家族の意見尊重	4.4	4.5
			環境整備(設備、居室等)	4.5	4.3
			自立支援に基づいたサービスの提供	3.7	4.3
			入居者や家族の意見尊重	4.4	4.3
			在宅での生活を継続する上でのサービス	4.3	4.4
			自立支援に基づいたサービス提供	4.2	4.0
			ケアマネジャーとの連絡、調整	4.4	4.5
			サービス全般	4.6	4.4
			サービス全般	4.3	4.6

自由記述

- ・家族ができない事まで手伝って頂いているので感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・本人が喜んでショートステイに行ってくれる。職員の方が皆親切だから、嫌がらない。
- ・職員に優しく接してもらい、本人も自分の家のように思っている。ただ、リハビリがないのが残念です。

・今回、「自立支援に基づいたサービスの提供」が、「3.7」と他の項目に比べ点数が低く、自由記述の要望でもリハビリについての希望がありました。特養にはリハビリ専門の職員がおらず、病院や老健と同等の訓練は出来ませんが、「自立支援に基づいたサービスの提供」を常に考え、食事・排泄・整容など、日々の生活動作を少しでも自分で行えるように支援しています。一口でも自分の手でスプーンを持って食べてもらう、歯ブラシを持って先ずは自分で磨いてもらう、できる限りトイレの便器に座ってもらう等、「少しでも自分でできる、できることが続けられる」を、リハビリの目標と考え実施しています。

・前年度は「苦情受付窓口」が「3.4」と低い評価になっていました。その結果に、確かに当施設では苦情窓口の案内が弱かったと気付かされ、改善としてエレベーターに苦情窓口案内を貼る、毎号のゆうあい通信に苦情窓口案内を記載するといった取組を行いました。その結果、今年度では「4.1」に上昇する結果となりました。

・最後になりましたが、自由記述で嬉しいお言葉を沢山頂き、職員一同感謝しております。

便秘予防の取り組み

規則正しい排便を促すには、食物繊維の多い食事・水分摂取・適度な運動・決まった時間にトイレに行く等が良いといわれていますが、入所者の多くはこれらの対策を自ら行うことが出来ず、便秘傾向にあります。できるだけ自然排便を促せるよう、介護科、看護科、栄養科が連携を取り、水分提供や体操、トイレ誘導、食事メニューの工夫等を行ってまいりましたが、更に、今年度から、毎週寒天ゼリーの手作りおやつと月に数回食物繊維が多く含まれる食材を使ったおやつを始めました。

カルピスや黒蜜ミルク、抹茶、りんごなど様々な味の寒天ゼリーや、さつまいもやバナナなどの食物繊維が多く含まれる食材を使った焼き菓子、チーズケーキやプリンなどを提供しています。入居者の方には「今日のおやつは何か?」「何味のゼリーの日だろう?」と、楽しみにしていただいています。これからも、便秘対策と同時に入居者の方の楽しみとなるよう取り組んでいきます。



4月～6月の行事風景

今年も春の恒例行事をたくさん企画しました。

4月

桜見物



今年は新型コロナウイルスの影響もあり近くの桜並木まで外出はできませんでしたが、施設玄関先にて満開に咲いた綺麗な桜を鑑賞しました。

5月

事務所前には迫力のある五月人形を飾りました。



柏餅やバナナケーキを作りました。料理好きな女性の入居者も多く、手作り料理はいつもより倍美味しく出来上がりました。

6月



五平餅を皆さんで作って召し上がりました。生地から作って完成が待ち遠しかったです。とっても上手に出来上がりました。

日常のレクリエーション

さまざまなレクリエーション(リハビリ)を行っています。ここでいくつかご紹介いたします。



傘玉入れゲーム

大きな傘を裏返しにしてボールを傘の中に入れて競います。腕の力や手の力など、上肢の筋力を使います。少人数でも皆でやれば大変盛り上がります。



足蹴りゲートボール

3メートル先にあるゲートに向かってボールを車椅子の足元に置き、思いっきり蹴っていきます。下肢の筋力維持にも効果がありスポーツ好きな方が参加されました。



輪投げ

輪投げは少人数で集まって楽しめる定番レクです。1番～9番までの的を狙って高得点を目指していきます。集中力もつき腕の筋力維持にも効果的です。